



発行:生活サポート生活協同組合・東京
東京都新宿区大久保 2-3-4 出光新宿ビル 4階
TEL:03-6205-6719 FAX :03-3200-6134
<http://www.kurashidial.or.jp/pc/>

7月!梅雨も明ければ、いよいよ夏本番です。山開き、川開き、七夕、お盆(地域によっては8月)、お中元と日本のしきたり・行事が続き、当ダイヤルもこの時期ならではの相談が入ります。今月はお中元のマナーについて少し説明します。

お中元こんなときどうするの?



- ❖贈る時期⇒関東では梅雨明け～7月15日位、関西では7月15日～8月15日までが一般的です。
- ❖毎年贈らないといけないの?また、お中元を贈ったらお歳暮も贈らないといけないの?
⇒基本的には毎年贈るもので、必ずしも両方贈らないといけないものではありません。もしどちらか一方にするならお歳暮にするのが一般的なようです。また、今年だけちょっとしたお礼で贈りたい場合は、お中元としてではなく表書きを『御礼・謝礼』にしてはいかがでしょうか。
- ❖喪中の方へのお中元は?⇒喪中であっても構いません。但し、外のしの〈紅白の水引〉は避け〈短冊のし〉などシンプルなものにする、また、ご不幸があつて間もない家庭には表書きを『暑中御見舞(御伺) 残暑御見舞(御伺)』としてもよいでしょう。
- ❖お返しは必要?⇒基本、返しは不要です。ただし、礼状はできるだけ出しましょう。
また、お付き合いの都合上どうしてもお返しをしたい場合は、お中元に『お中元』を贈るより時期をずらして『残暑御見舞』で贈るのもひとつの方法です。
- ❖数年間お中元を贈ったけどそろそろ止めたい⇒お中元は日頃の感謝の気持ちを現わすもの。疎遠になっている方など止めても構わないと思います。突然止めても問題はないのですが、ただ後々の関係にも影響しそうならば、まずお中元お歳暮を贈っていた場合はお歳暮だけにする→品物の金額を徐々に少なくする→挨拶状だけにする、と時間はかかりますが、徐々に止めていったらどうでしょう。また、引っ越し・転勤など環境が変わり疎遠になった時が止めどきです。

「インターンシップ in 協同組合 2016」始動!!

7/2(土)、パルシステム東京新宿本部にてキックオフ会議を学生や受け入れ団体・協力団体等の方々に参加いただき、総勢60名で開催しました。



今年は7大学18名(男性5名・女性13名)のインターン生が参加します。

詳細はNEWS LETTER 特別号でお伝えします。

今さら聞けない・・・くらしの悩みなどなたでもお気軽に相談できます。

専門相談員が対応 平日10時～16時

くらしの相談ダイヤル 0570-055-656 (ナビダイヤル)

03-6205-6719 (ナビダイヤルで通じない時)

* 弁護士による無料電話法律相談 月1回実施 (詳細は「くらしの相談ダイヤル」にお問い合わせください)